

# 児童画教育に大きな影響を与えた 青木實三郎先生顕彰碑 生誕の地 馬木に建立

明治十八年大馬木に生まれ、明治四十四年馬木小学校に赴任した青木先生は、当時常識的に行われていたお手本を模写するだけの図画教育に満足せず、現代では当たり前となつた、周りの自然や生活にあるものを子どもたちが感じたまま自分の描き方で表現する「想画法」を確立されました。当時、その画期的な手法で描かれた子どもたちの絵は、国内にとどまらず海外でも展示されるほどの高い評価を受け、その指導法は現在の美術教育の源流となりました。



この偉業をたたえる記念事業が十一月十日に馬木小学校であり、地元関係者や馬木小学校児童など約七十人が見守る中、顕彰碑の除幕式が行われました。その後「青木實三郎顕彰事業図画コンクール」の優秀作品への表彰があり、町内の小中学校から出展された四百二十四点の作品から選ばれた十人へ賞状が贈られました。また、青木先生の業績を研究している島根大学教育学部の佐々有生教授の記念講演では「子どもは伸ばさなければならぬ」「豊かな心を育てる」という青木先生の言葉を紹介し、当時六年生の担任でありながら全校生徒の図画指導にあたった青木先生の逸話など、その偉大さをお話されて記念事業を締めくくりました。



▶ 応募作品が壁一面に

## 奥出雲仁多米(株) 3年連続4回目の金賞受賞

食味の優れた新米を選ぶ「第14回米・食味分析鑑定コンクール」(米・食味鑑定士協会主催)が11月22日と23日、長野県木島平村で開催され、奥出雲仁多米(株)のコシヒカリが三年連続四回目となる国際総合部門・金賞を受賞しました。コンクールには過去最多となる3915点が出品され、このうち奥出雲町からは奥出雲仁多米(株)のほか一名、一団体が各部門で入賞しました。

今回の受賞により、仁多米ブランドの名声を改めて全国に伝えました。

受賞おめでとうございます

- ◆国際総合部門  
〈金賞〉(3年連続4回目)  
奥出雲仁多米(株)【コシヒカリ】
- ◆都道府県選抜代表 お米選手権  
〈特別優秀賞〉  
環境保全型農業推進ネットワーク稲田姫  
安部 備造さん(中村)【夢の華】
- ◆小学校部門  
〈特別優秀賞〉  
布勢小学校  
【コシヒカリ】



## 幼児から年配の方まで夢を語る「ふれあい囲碁大会」

簡単なルールで誰もが楽しめる『ふれあい囲碁』の大会が、NPO法人島根教師力向上支援研究会の主催で十一月十一日カルチャープラザ仁多において開催されました。

最初に、ふれあい囲碁の考案者である安田泰敏(あんだたいみん)が「石を囲んで一つでも取った方が勝ち」というルールを説明し、参加者同士の対戦が始まりました。初対面同士ということもあり、参加者は緊張した雰囲気の中対戦を始めたが、真剣に考える表情はみるみる生き生きとしたものになり、対戦が終わるたびに勝った達成感や負けた悔しさを共に笑顔で表現していました。



対戦が終わると、安田九段から参加者全員で自分の夢を語る提案があり、各々が自分の夢を語りました。安田九段は「以前、周りから馬鹿にされていた男の子が夢を語ったから、周りの子どもたちがその夢をかなえるために自分ができることを発表し始めた。他人の夢を共有すると自分の夢

## オーストラリアの地で力試し

ジュニアユースホッケー日本代表の遠征に町内から選手参加

十一月二十四日からオーストラリアのパース市で行われるU-16(十六才以下)ジュニアユースホッケー国際大会に参加する選手四人の激励会が十九日に仁多庁舎でありました。今回日本代表として参加されるのは横田中学校三年生の紅直輝さん、早戸美優さん、仁多中学校三年生の内田軍馬さん、松浦サヤさんの四人です。井上町長が「日本代表として全力でプレーし、全国から集まるチームメイトだけでなく対戦する外国チームのメンバーとも交流して仲間をたくさん作ってほしい」と激励すると、選手たちは緊張の面



▲日の丸を背負う4人

持ちで、各々が支えてくれた周囲の人たちへの感謝と、全力でプレーする決意を述べました。

【速報】女子は六チーム中優勝、男子は八チーム中、四位という結果でした。おめでとうございます。

## 永瀬恵美さん(下阿井) 県功労者表彰受賞



平成24年度島根県各種功労者表彰が11月26日に松江市であり、阿井地区の永瀬恵美さんが受賞されました。永瀬さんは、県指導農業者として農業後継者の育成に努められています。受賞おめでとうございます。

## 亀高小学校PTA 優良PTA文部科学大臣表彰を受賞

読書推進の活動やPTA総会など諸会合への会員参加率の高さなどが認められ、亀高小学校PTAが平成二十四年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞されました。昨年の日本PTA全国協議会会長表彰に続く二年連続の全国表彰となり、亀高小PTA会員の皆さんの継続した取り組みが全国的に高く評価された結果となりました。受賞おめでとうございます。



▶ 松崎卓也会長(右)と安部茂寿校長(左)

## 「やさしさがみんなのこころの金メダル」 (飯塚郁也さん作)

～人権標語・イラスト優秀作品決まる～

奥出雲町人権教育推進協議会主催で12月2日に開催された「人権を考える町民公開講座」に併せ、同協議会が募集していた人権標語・イラストの優秀作品表彰式が横田コミュニティセンターでありました。

標語の最優秀賞には、応募総数1,226作品の中から布勢小学校2年生の飯塚郁也さんの作品が、イラストの最優秀賞には、応募総数251点の中から島根デザイン専門学校二年生の菅田かおりさんの作品が選ばれました。

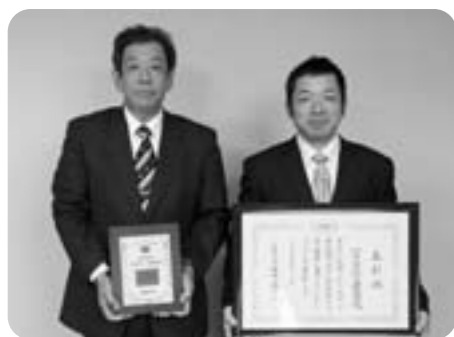
受賞おめでとうございます。



▲飯塚さん(左)と菅田さん(右)

## 阿井地区剣道振興会 文部科学大臣より表彰

平成二十四年度生涯スポーツ優良団体表彰が文部科学省により決定され、阿井地区剣道振興会が島根県内では唯一受賞されました。同振興会は昭和四十七年に当時の阿井小学校PTAにより立ち上げられた組織で、現在は子どもたちだけでなく地域の方も参加され、今年で四十周年を迎えられました。受賞おめでとうございます。



▲小川正志指導員(左)と高松昌志会長(右)